早稲田実業学校校友会の皆様、お元気ですか。

新型コロナウイルスの感染拡大によって、我々の日常は大きく変わってしまいました。予定されていたイベントや各種行事は全て中止となり、街中からは人の波が消えました。我が母校・早実は、2月末から初等部、中等部、高等部ともに休校状態が続いています。

外部との接触を避けての行動、マスクを着用しての仕事や打ち合わせ、テレワークによる作業など、校友会の皆様のストレスも、既に極限に達していることと思います。6月20日、21日に開催される予定だった校友会の関西支部大会も、残念ながら中止となりました。

いつ終息するのか、予想もつかない敵との戦い。早実・村上公一校長は家計急変により、授業料が滞りそうな児童生徒たちのために早稲田実業学校奨学金(緊急特別給付)の制度を設けることを公表しました。校友会としても母校のために何らかの支援を考えて行かなくてはならないでしょう。そのために何ができるのか、時期か来ましたら皆様のお知恵を拝借できたらと思います。

足踏みを続けるような閉塞感の中で、我々は耐え忍ばなければなりません。苦難の中、母校の校是校訓である「去華就実」と「三敬主義」を心に刻みなから、校友会の皆様とともに歩んで行けたらと思います。

明けない夜はない。この言葉を信じて、長いトンネルから抜け出し、母校の未来を皆様と語り合える日が来ることを願っております。

昭和51年卒、校友会会長・池田哲雄